



平成26年12月15日

2	3	4	5	6	7	8
面	面	面	面	面	面	面
松川町駅伝大会	歴史ロマンの旅	みんなで仲良く	青年の家だより	スポーツ・情報	ひと・すぼっと	こどもの詩・短歌・俳句
						地区文化活動・ペンペン草



# まつかわ百景 ⑧6

## 「かりん」(上片桐)

遊休農地に植えてある「かりん」。長く人の手が入っていなくても、秋には見事な実をつける偉大な自然の力。

「世界に一つしかない地域の宝物を見つけよう」、地域を知ること、地域を豊かにすること！町産業観光課が窓口となり地域コーディネーター桂川雅信先生にご指導をいただき地域の宝・魅力新発見がスタート、現在ボランティアガイド役地域案内人として6名が「おいなんよ松川」という親しみやすいキャッチフレーズを掲げ、主に松川へ観光等で訪れたお客様にご案内として活動しております。

史跡、神社、古刹、石仏、原風景眺望、地域の歴史、分野は多岐にわたります。定期的に見学会、ワークショップと実践経験を重ねながらお互いに情報を共有し、知識を深めているところです。また豊富な知識をお持ちで地元精通しておられる方々にも助言、案内にも加わってもらい知られざる魅力を更に深めるべく充実した内容に

## 主張

### 地域の宝・魅力新発見!!

なるようコース、マニユール設定中です。

ポイントとして

- (1) お客様の目線で考えて楽しめる無理のないコース
- (2) 記憶に残る、来てよかった、また来たい
- (3) コースの意図を明確にする「へえー」「なるほどね」「すごいねえ」「面白いねえ」

感動してもらえるところ。ちよつとした気遣いが心地よい案内につながるよう心掛けています。普段当り前のように思っている季節ごとの自然、文化、暮らしに興味を示し魅力が引き出せればより大きな輪が広がるものと思っております。まだまだ私達地域案内人も勉強途中です。

皆様からご意見をお寄せいただき、改めて一人でも多くの皆さんに加わっていただきたく募集しております。是非一緒に地域の宝を発見しましょう。

地域案内人 南端 照雄



# 第30回記念 松川町駅伝大会



さすが陸上部！！

2区 河合蓮さん  
「1区から1位でたすきを受けたので、とにかく順位を保持するという気持ちが強くありました。」

## 松川高校 陸上競技部



第30回となる記念の松川町駅伝大会が11月9日(日)に行われました。  
第1回は、体育部部員会で熱い協議がされ、昭和60年に開催されました。当時は、中学校校庭を起点に3方向へ折り返す6区間で、総距離15・8キロメートルのコース

でした。(現在は18・1km) 第4回には、現在につながる町一周区間のコースに変更されています。  
今回は、途中から雨が降り出しましたが、参加した40チーム、たすきを渡し走りしました。



たすきをつなぐ

部長  
「優勝してくれると信頼していた。確実に1位で来てくれた。」



## パフォーマンス賞 三分ドゥーン!!

1区 川上輝芳さん  
団員募集！  
2区 矢野 悟さん  
走るのは疲れたけど、皆でタスキを繋いでいく事により、より一層絆が深まった気がし



いつも楽しいパフォーマンス

ます。仮装もして大変でしたがすごく楽しい時間でした  
3区 鎌倉祥吾さん  
パフォーマンス賞を頂いて感激です。いい広報になったかと思えます  
4区 光澤宏二さん  
疲れたけど、楽しかったです  
5区 塚本 徹さん  
ちょー気持ちいい♪  
6区 宮澤俊輔さん  
消防団の活動をアピール出来ました(汗)  
仮装して走りましたが：雨の影響もあり予想以上に疲れました(汗)  
3分团长 北原新吾さん  
今回、いいアピールができたかと思えます。こんな3分団にぜひ入ってもらって、色々な所で活躍してもらいたいと思います。選手みんな、お疲れ！

## 今回が最後の大会 ありがとう 東小学校

1区 清水乙音さん  
前は走るのが嫌だったけれど、東小での出場が最後だったので頑張ることができ、楽しかったです。  
2区 加賀田穂さん  
雨の中だったけど一度も歩かないで次の人にたすきを渡すことができて良かったです。  
3区 下澤 愛さん  
大変だったけれど完走できてよかったです。  
4区 橋場郁彦さん  
私が走ったとき急に雨が強くなって寒かったけど完走できてよかった。  
5区 遠藤雨里さん  
いつも練習していたよりきつかったけど、全力で走れた。  
6区 松下陽佳さん  
東小として出場するのは最後で、雨の中大変だったけど、皆で力を合わせて「特別賞がもらえたのでとっても良かった。」



東小として最後

# 第30回 松川町駅伝大会結果 平成26年11月9日(日)午前9時10分スタート

総合優勝	松川高校陸上競技部	1時間08分06秒
------	-----------	-----------

## 【部門別入賞チーム】

部門別	優勝	準優勝	三位
一般男子	HAN 1時間16分51秒	陸上クラブおやじーズ 1時間22分00秒	獣王 1時間22分51秒
一般女子	陸上ファミリー 1時間28分34秒	天によじ登るおっ母ず 1時間47分00秒	陸上クラブまますん 1時間47分24秒
高校生男子	松川高校陸上競技部 1時間08分06秒	松高闘牛ライダーズ 1時間18分07秒	
高校生女子	仏の今さん弟子部 1時間22分35秒		
中学生男子	松川中陸上部 1時間09分22秒	北安松川中 1時間13分28秒	松中男バス 1時間17分47秒
中学生女子	北安松川中 1時間23分28秒	A☆K I ☆NOis (笑) 1時間28分23秒	
小学生男子	陸上アスリートジュニア 1時間20分34秒	上片桐少年野球クラブ 1時間32分33秒	松川ミニバスA 1時間34分56秒
小学生女子	陸上アスリートレディ 1時間22分52秒	バスケンジャー7 1時間28分52秒	バボちゃんS” 1時間31分06秒

## 【個人区間優勝者】

部門	区間	1区	2区	3区	4区	5区	6区
		(3.5km)	(3.2km)	(3.0km)	(2.3km)	(2.6km)	(3.5km)
一般男子	氏名	相川圭	湯澤一倫	寺澤陽平	北澤義典	前島大地	細井直哉
	チーム	第2分団M	北小 桐々My	HAN	第2分団M	北小 桐々My	福与B・C
	タイム	12分08秒	12分12秒	13分14秒	08分07秒	11分21秒	15分48秒
一般女子	氏名	正井亜樹	神部紫音	古沢由貴	関冨桂	遠藤久流美	片桐幸那
	チーム	天によじ登るおっ母ず	陸上ファミリー	陸上ファミリー	陸上ファミリー	天によじ登るおっ母ず	陸上ファミリー
	タイム	16分08秒	12分26秒	17分47秒	10分16秒	13分55秒	16分50秒
高校生男子	氏名	近藤裕哉	河合蓮	篠田治輝	平澤太一	丸山玲央	大西元気
	チーム	松川高校陸上競技部	松川高校陸上競技部	松川高校陸上競技部	松川高校陸上競技部	松高闘牛ライダーズ	松川高校陸上競技部
	タイム	11分18秒	10分38秒	13分21秒	08分08秒	10分53秒	13分43秒
高校生女子	氏名	熊谷美佑	家苗蒔	稲垣汐里	南林いづみ	菅沼真洸	西永梨恵
	チーム	仏の今さん弟子部	仏の今さん弟子部	仏の今さん弟子部	仏の今さん弟子部	仏の今さん弟子部	仏の今さん弟子部
	タイム	15分04秒	14分08秒	14分40秒	09分21秒	13分18秒	16分04秒
中学生男子	氏名	大和田悠太	近藤雅哉	西永佳樹	家苗薫	小池貴太	松下哲也
	チーム	北安松川中	松川中陸上部	松川中陸上部	松川中陸上部	松川中陸上部	松川中陸上部
	タイム	11分13秒	12分54秒	12分41秒	07分55秒	10分37秒	13分32秒
中学生女子	氏名	薛峻子	吉岡菜	森本恵生	宮坂希実	萩原夏妃	北澤詩織
	チーム	北安松川中	北安松川中	A☆K I ☆NOis (笑)	北安松川中	A☆K I ☆NOis (笑)	北安松川中
	タイム	11分45秒	15分00秒	13分48秒	09分18秒	13分41秒	17分27秒
小学生男子	氏名	中島快都	登内泰成	福与大地	宮内笑夢	羽生大起	下平佑輝
	チーム	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア
	タイム	12分43秒	13分54秒	13分50秒	09分45秒	13分30秒	16分52秒
小学生女子	氏名	筒井心葉	久保田玲奈	花井静	宮澤香音	西村歩華	佐藤悠花
	チーム	陸上アスリートレディ	バボちゃんS”	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ
	タイム	13分20秒	14分21秒	15分05秒	09分55秒	13分27秒	16分11秒



# 史学会・資料館 歴史回マンの旅 越中・越前・飛騨の旅

## 生まれ変わり、女人救済の立山信仰

11月5日、6日の両日、史学会・資料館共催の歴史回マンの旅が行われました。今回で21回となるこの旅は、「生まれ変わり、女人救済の立山信仰」をメインテーマとして、富山県を中心に福井県・岐阜県を探訪しました。

初日は東海北陸自動車道経由で世界遺産白川郷を見学後、富山市から立山町に入り、富山県立立山博物館・芦峯寺閻魔堂・遙望館を探訪しました。



学芸員から立山曼荼羅の説明を聞く

今回探訪のメインである立山では、日本三大山岳信仰として著名な立山信仰と、立山独自の姥尊信仰について学習を深めました。古来、山岳信仰は地獄と見做された峻険な山中に籠り厳しい修行を行うことで死後の世界を疑似体験し(擬死)、形式上「他界に入り生まれ変わる」(再生)という功德を得、極楽往生が約束されるとされました。しかし、全国の霊山は女人の入山を固く禁じていたから、山岳信仰において女性の救済は叶いませんでした。立山信仰では女人救済のため、古くからあった土着の姥神(山の神)信仰に十王信仰の奪衣婆を習合させ、布橋灌頂会という独特の法要をあみだしました。迷える女性には芦峯寺の雄山神社中宮(神仏混淆)の閻魔堂に籠って閻魔大王の前で懺悔をし、明念

坂を下り、三途の川に見立てた姥谷川に架かる布橋を渡り、あの世とされる世界に入り(擬死)、橋のたもとにある姥堂に入り、暗闇の堂内、姥尊の前で堂籠りの儀式を行いました。儀式が終わると四方の壁が取り払われ、眩い光が入り込み、眼前に雄大な立山の峻峰が展開し、まさに極楽浄土からの仏の来迎が疑似体験され(再生)、受戒し血脈を授かって男同様に救済されます。極楽往生が約束されたといえます。

博物館でおよそ1時間、立山信仰について細かい解説の後、私たちもこれを体験しました。閻魔堂で懺悔し、明念坂から真つ赤な布橋を渡って彼岸(あの世)に至ります。



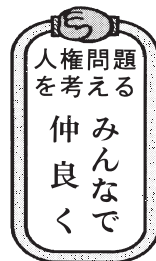
彼岸と此世の境、三途の川に見立てた布橋を渡る



と温泉に浸かり、美味しい食事と北陸の夜を満喫しました。

昔はこの橋に三筋の白布が敷かれ、三途の川を表したのです。悪人はこの橋から転落するそうです。みな無事にわたって彼岸の姥堂に見立てた遙望館に入り、真つ暗な闇の中、立山信仰、立山の自然等、およそ1時間の映像を鑑賞すると、突然館の壁が取り払われ、目の前に雪を戴いた立山の連山が望まれ、古の人々の感慨を直に感じることができました。女性に限らず、旅行に参加された皆さん全員が極楽往生を約束されたことでしょう。宿泊は氷見温泉、ゆつくり

は少ないのですが、仏法を学ぶ若き僧たちの真摯な姿には、いつも清々しさを感じます。日本で最も海に遠い伊那人、憧れの海、越前海岸をドライブし、今回初めてのお楽しみ企画、昼食は海辺の料理旅館で特別海鮮料理を堪能しました。史学会や参加者も高齢化し、以前のように何か所も欲張った探訪はできません。今回のようにポイントを絞り、娯楽面やグルメにも気を配り、気軽にゆつくりと探訪できる旅行を計画していきたいと思えます。(松川町資料館)



### マツト運動

中央小4年 丹羽恵莉香

体育で

マツト運動をした。

「前転、苦手だな。」

ゆいさんが言った。

「やり方教えてあげる。」

私はゆいさんに言った。

手を強くおすんだよ。

それでくると回るよ。

教えてあげたことを

ゆいさんはだんだん

できるようになってきた。

すごい。

そして見ていたら

くるん。

ゆいさんが上手に回った。

やったー。

### 心のよう服

中央小4年 本比田あい

だれにだつて心のよう服がある

いっしょに遊ぼうと言われた時

心はどうゆうよう服を着てい

るだろう

オレンジやピンク黄色など明

るくてポカポカする色のよう

服をきている

でももしこれがいやだったたり

うれしくなかつたら心のよう服をはどんな色のよう服を着ているだろう

黒や茶色青などくらしい色やこ

い色など少しダークな色のよ

う服を着ている

こんなふうの心のよう服は気

持ちによって色がかわつてい

るのかもしれない

### 結局仲なおり

中央小4年 坂田 拓哉

ぼくのだい ぼくのだい

ぼくがさきにとつたんだ

おもちゃのとりあい

きょうだいげんか

ぼくのだい ぼくのだい

さつきまで いってたが

だんだん いう気が

なくなつた ゆずると

相手も ゆずつた

ゆずり合い 楽しくなつた

ぼくのだい ぼくのだい

ずつと いってたけど

結局 いっしょにわらう

結局 いっしょにつかう

結局 さいごは 仲なおり



### 生涯教育のメッカ

## 松川青年の家だより

（その三十八）

### 森キャンブ〜秋〜

今回は11月8日と9日に行つた秋キャンブの夕飯についで報告します。

片桐松川の上流にある片桐ダムには、いつ頃からかわかりませんが、ウチダザリガニがたくさん生息しています。このザリガニは最大で15センチメートルを超えることもあり、よく知られているアメリカザリガニよりも少し大きな体をしています。体全体はこげ茶色ではさみなどに青っぽい縞模様があり、赤いアメリカザリガニとは大きく異なります。

このザリガニは西洋では高級食材として人気があることから、日本でも食材にしたいというところで、北米から北海道の摩周湖へ移入したそうです。それが道内の湖にだんだん定着して、今では北海道の阿寒湖などで育つたものが、フランス料理の高級食材として売られているようです。片桐ダムでも、かつて、誰かの手によってそれ

が運び込まれ、現在のように大量の個体が生息することになったのでしょうか。

ところが、北海道には以前からニホンザリガニが生息していて、ウチダザリガニによって食べられたり病気を移されたりして、絶滅の心配があることが分かってきました。そこで、我が国ではブラックバスなどと同様に特定外来生物として、駆除をしなければならぬ種として指定されています。

### 夕飯はウチダザリガニ

そこで私たちは、このキャンブで片桐ダムのウチダザリガニを捕まえて、調理をして

その味を楽しもうということになりました。

まず、私が7日の夕方、ダムへ行って捕まえるための罠（籠）を仕掛けてきました。そして、8日の午前中に参加した子どもたちと現地へ出かけ籠を上げてみました。なんと、7つの籠の中に全部で250匹ものザリガニが入っていました。思わぬ豊漁でみんな大喜びでした。その後、捕ってきたザリガニを大きな鍋で茹でてから、殻をさきみで切り中の身を取り出したのですが、殻が堅いのと数が多いことでも大変でした。茹でて赤くなつたその身を使ってチャーハンとサラダとスープの3種類の料理を作りました。

ザリガニの身が多かつたので、どの調理にもザリガニの味と風味がいっぱい詰まつてとてもおいしくて、中には何杯もおかわりをした子どももいました。私個人としてはチャーハンがとてもおいしいなあと思えました。最後に、翌日作つた子どもの俳句から「ザリガニは カニの仲間か エビなのか」。



捕まえた ウチダザリガニ！



# 寒さに打ち勝て！スポーツ

## トリプルゲートボール大会 南信地区大会

10月12日(日)飯島町柏木グラウンドにてトリプルゲートボール大会南信地区大会が開催され、松川町からは長峰と松川の2チームが参加しました。

結果は次のとおり

長峰チーム県大会出場決定

## 松川町ゲートボール 連盟秋季大会

10月22日(水)に豊丘スポーツ館にて松川町ゲートボール連盟秋季大会が開催されました。

結果は次のとおり

優勝 長峰

準優勝 宗源原

第3位 中の村

## 第9回長野県 ジュニア武術太極拳大会

10月26日(日)に第9回長野県ジュニア武術太極拳大会が開催されました。

結果は次のとおり

男子初級棍術

優秀賞 宮下 巡  
(松川中1年)

男子初級長拳

優秀賞 宮下 巡  
(松川中1年)

男子パンダ長拳

1位 北原 秀磨  
(北小3年)



出場された少年少女カンフー・太極拳クラブのみなさん

女子初級長拳

1位 古林みなみ  
(松川中3年)

2位 宮下 友希  
(松川中3年)

3位 松前 桃子  
(松川中3年)

## 松川町早起き野球

12月2日(火)に松川町早起き野球の今年度閉会式がおこなわれました。

本年度の結果は次のとおり。

松川町早起き野球リーグ戦

優勝 よかよかタイガース

準優勝 平成トンネルズ

第3位 MIC

松川町早起き野球トーナメント戦

優勝 松川ファイターズ

## 第10回北関東ブロック ジュニア武術太極拳大会

第10回北関東ブロックジュニア武術太極拳大会が、11月30日(日)に栃木県足利市で開催され、少年少女カンフー・太極拳クラブのみなさんが出場しました。

結果は次のとおりです。

男子パンダ長拳

1位入賞 北原秀磨  
(北小3年)

女子初級長拳

7位入賞 古林みなみ  
(松川中3年)



北原さん



古林さん

## 社会教育施設 1月の一斉受付は

1月5日(月)午前7時45分より行います。

施設は4日(日)からご利用いただけますので、事前にご予約のうえ、ご利用いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先 中央公民館 電話 36-2622

毎月第3日曜日は

家族ふれあう

「家庭の日」



### 地域に活力を

―社会福祉推進部長 幸村美佐江さん―

大島上部自治会で女性では初となる社会福祉推進委員として活躍されている幸村美佐江さん。



### すぽっと

### あいさつを通じて 街頭あいさつ運動

今から約10年前、「最近の子どもはあいさつをしない」ということが平成15年度の公民館研究集会の中で話題となりました。「あいさつがない」ということは子どもと大人とのコミュニケーション不足であり、子どもがあいさつをしてくれるのを待つのではなく大人から積極的にあいさつをしてコミュニケーションを図ろうという結論に至りました。また、あいさつをすることで子どもたちは、大人が見えてくると感じ、問題行動も

活カあるまちへ  
少なくなるのでは  
ないかという意見も  
出ました。

ポスターの作成や講演会等を経て平成17年度から街頭あいさつ運動がスタートし、今年度で10年目となります。現在では、本館・地区公民館の関係者のみならず、社会教育委員の方や役場青年部の方々にもご協力をいただき、年間10回の運動を行っています。「子どもたちからあいさつをしてくれることが多くなった」という感想は、年々多くなっています。また、松川町に赴任してきた教員の中から「松川町の子もたちは、あい

たけれどもそれも今は無くなつてしまつてきているので、そこで少しでも顔を合わせて話ができる場を作れたらと、自治会の協力を得てサロンを立ち上げたそうです。

サロンの他にも社協の協力でバスハイクを企画したりと精力的に活動されている幸村さんにこれからについてお聞きしたところ「行政に頼りきりではなく、お互いに助け合える自治会にしていきたい。またサロンから様々な情報発信をしていけるようになっていったらいいな。」と目標を語っていました。

さつがよくできる」という感想があったという話も聞いています。今後もあいさつ運動を通じ、明るい声が響く活力のあるまちづくりに協力していきたいと思えます。

松川町中央公民館



元氣なあいさつが響きわたります

### こころの詩

わたしのハムスター  
北小4年 大澤花穂

私はハムスターをかつている。  
名前はかなちゃん。学校から帰つてきて、「かなちゃんだいま。」と言いつつ、

「おがえり花穂ちゃん。」と言いつつに黒箱から出てきて私の近くに来てくれる。そしてだきあげると私のうでをのほつきき顔の近くに来る。おでこをなでるとくすぐりたいようにまんまるくなる。「かわいいな。」といつも思つ。かなちゃん大好き。これからもずっと仲よくしようね。

### すくすく楽しいグループ

北小4年 松田由梨奈  
私のグループは毎日が楽しい。一日一回は必ず笑つ。ちよつとした言葉が、おもつた言葉になつて帰ってくる。その後グループのみんなと、いっしょに大笑いする。たまになみだが出るくらい、おもしろい時もある。笑いすぎてふつふつ言葉でも笑つちよつたこともある。このグループは楽しいな。明日も元氣にこのグループに行けるかな。

### 短歌

中原 朋子(東浦)

くれないに燃ゆる楓と黄に染まる分杭峠の樹々の明るさ

時報告くメロディ秋の風にのり金木犀の香りも運ぶ

舞い來たる御嶽山の火山灰自然の猛威に心震える

フルートの音色は胸に浸み渡りコンサートはいま盛り上がるゆく

山茶花は充ちたり咲きて紅を保ちしままに散り敷きける

### 俳句

冬の薔薇 西澤 清子(中荒町)

山茶花や夕日とどめて暮れ惜しむ

竹の秋閑かな主家の門構え

時ならぬ夜明けの喝や冬の雷

悠久を織り込むごとし冬薔薇

大野原風の素通り冬ざるる





名子



古町

文化の秋

上片桐



上新井



草

江戸時代中期に活躍した俳人、大島蓼太は、大島村（現松川町）出身といわれ、郷土に誇れる人物の一人です。松尾芭蕉が亡くなってから50年ほど後の天明期に俳諧を芭蕉の時代のころに戻そうという動きが盛んになります。その中心的活躍をした俳人の一人が大島蓼太です。大島蓼太は、江戸を中心に活躍し門人は3000人余といわれ、各地に弟子たちが建立した句碑が残されています。先日、それらの句碑を求めて茨城や東京を巡りました。20年以上も前に活躍した人といえ、芭蕉の系譜を引く俳人が地元から出ていたことは驚きです。勉強不足の私は、句碑を見ても流れるような文字で何が書いてあるのか全くわからず、説明を聞いてやっとわかった程度ですが、たくさん句碑が残されるほど活躍した人だということに感動しました。年明けには町の資料館で大島蓼太の特別展が開かれるということでこちらも楽しみです。

光澤 正之

公民館報  
「まつかわ」  
第 614 号  
平成26年12月15日  
発行所 松川町公民館  
責任者 矢澤 登  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2622  
e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)  
再生紙を使用しています。